

グランドデザイン構想(素案)

練馬区は、区民と区が、目指す将来像を共有し、ともに実現に向けて取り組むために、おおむね10年後から30年後の将来像を「暮らし」、「都市」、「区民参加と協働」の3つの分野からなる「グランドデザイン構想(素案)」としてまとめました。

「暮らし」・・・区民が安心して心豊かに生活する「暮らし」の目指す姿
「都市」・・・区民の暮らしの舞台である「まち」の目指す姿
「区民参加と協働」・・・「区民参加と協働」の目指す姿

「暮らし」のグランドデザインでは、区民協働による取組を推進し、豊かなみどりを守り・育て・楽しむことを目指しています。

「都市」のグランドデザインでは、30年後のまちの将来像を、以下のとおり示しています。

30年後のまちの将来像

「みどりに恵まれた良好な環境の中で、誰もが暮らしを楽しむ成熟都市」

魅力にあふれ利便性に富んだ駅前と周辺のまち
みどり豊かで快適な空間を演出する道路
生きた農と共存するまち
みどりあふれる中で多彩な活動が展開されるまち

さらに、「暮らし」と「都市」のグランドデザインが目指す将来像の実現のためには、区民参加と協働を根幹に据えて、取り組むことが必要です。

そこで、「区民参加と協働」のグランドデザインでは、区民参加と協働を推進するための、区の取り組みの方向性を示しています。

みどりに関しては、平成28年に「練馬区みどりの区民会議」を立ち上げ、区民協働に向けた取組を開始していますが、今後も区の取り組みの方向性に基づき、さらに仕組みや体制を整える必要があります。

区の取り組みの方向性

地域活動に一步踏み出し、協働の取り組みを始めるためのきっかけづくり
区民や団体同士の信頼関係の醸成
区民や団体のアイデアの具現化に向け、区もともに考え、行動する仕組みづくり
区組織の縦割りを超え、区民参加と協働を推進する体制づくり

練馬区みどりの基本計画は、「グランドデザイン構想(素案)」で示した将来像を実現するための、みどりの保全と創出に関する個別計画として定めるものです。